

# 令和6年度 学校関係者評価実施報告書

定時制

学校番号	70	学校名	静岡県立浜松北高等学校・定時制	記載者	松野 立
------	----	-----	-----------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基礎学力の確実な定着と思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ力の育成を図るため、継続して授業改善に取り組むとともに、探究活動の充実を図る。	<p>「授業を通して基礎学力が身についた」と思う生徒が95%以上</p> <p>「先生は授業中に生徒一人一人の様子をよく見ている」と感じる生徒が95%以上</p> <p>計画的に粘り強く学習に取り組んだ生徒が90%以上</p> <p>自ら課題意識を持って取り組んだ生徒が60%以上</p> <p>図書館や情報機器等を利用して、意欲的に学習活動に取り組んだ生徒が80%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が先生を信頼して前向きに勉強に取り組んでいる様子が伝わります。後は図書館の利用の仕方や情報機器の扱い等を具体的に指導して、勉強することの面白さが伝わるといいです。もう一歩でしようか。</li> <li>多様な生徒を丁寧に教えている姿勢がうかがえる。</li> <li>様々な背景を持つ生徒が教師との信頼関係の下で学業に励んでいる様子が伺える。</li> <li>「図書館や情報機器等～」の質問に対する「思う」の回答の昨年度からの低下が注目される。既に就労している生徒も在籍していると思われるところ、全日制以上に実社会への適応が既に求められる側面があると考ええる。すなわち、自ら正しい情報の収集を図る意欲や手段についての学びが、一層、重視されるべきと考ええる。</li> </ul>
イ	学校生活の意義を理解させるとともに、集団における役割を果たすことを通して、社会性や自己肯定感の向上を図る。	<p>学校生活に真面目に取り組んでいる生徒が90%以上</p> <p>「人との係わりが増えた」と思う生徒が90%以上</p> <p>自分に対して自信を持っている生徒が90%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団で行動できるように色々な行事に取り組みながら、個々の生徒に対応されている先生の姿が浮かびます。</li> <li>定時制高校の役割を果たしている。</li> <li>自己肯定感の向上は卒業後の進路選択にも大きく寄与することが考えられ</li> </ul>

					<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずもって、登校し、学習することへの高い意欲が維持されることが肝要である。この点、アンケート結果は良好な傾向が示されているが、定時制においてもやはり「取り残し」を0ないし最小化する努力が継続的に図られるべきであることは当然と考える</li> </ul>
ウ	<p><b>社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育を推進する。</b></p>	<p>目標を持って学校生活に取り組んでいる生徒が90%以上</p> <p>ポートフォリオの作成が、自分を振り返る機会になっている生徒が90%以上</p> <p>将来の在り方や生き方について具体的に考えることができた生徒が80%以上</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校時代は思春期であり、迷って悩んで不安を経験し成人となる大事な年頃である。</li> <li>・キャリア教育の中でも自己理解が最も大切だと考えますので、大変良い取り組みをされていると思います。</li> <li>・生徒に将来と向き合う場を提供していることがうかがえる。</li> <li>・ア、イの結果を含め、キャリア教育が推進されている結果であると考えられる。</li> <li>・学校生活に真面目に取り組む生徒が増えている傾向が感じられる。この点、いわゆるキャリア教育についても効果を挙げる「下地」といったものが概ね整えられているものと思料する。引き続き、積極的な推進を期待したい。</li> </ul>
エ	<p>生徒指導の充実を図り、生徒との信頼関係を築くことで、安心・安全な学習環境を整える。</p>	<p>悩みを相談できる人がいる生徒が100%</p> <p>学校生活を通して人間関係の築き方を学ぶことができた生徒が90%以上</p> <p>「学校は病気やケガ等の防止対策、発生時の対応が適切で安全だ」と思う生徒・保護者が90%以上</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や先生に生徒が信頼を寄せている様子は資料から拝察されます。もう一步をどうするか、課題欄に記されているように、職員全員で一人一人の生徒の状況を把握して地道に声掛けしていくしかないのかなと思います</li> </ul>

		<p>問題行動による生徒指導件数が0件</p>		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が学校に好感を持っていることがうかがえる。</li> <li>・個々の生徒の内面に踏み込むことには限界があると思われるが、これからも安心できる学校であって欲しい。</li> <li>・アンケートの回答によれば、登校や学習への高い意欲が伺われる一方、教員との信頼関係構築に若干の課題があるように思われる。この点、保護者アンケートの傾向から、学校（教員）と保護者との情報交換や意思疎通の促進が生徒と学校（教員）との信頼関係の構築にも有効に作用する可能性があると思料する。各家庭の事情の多様性は全日制以上であると思料するが、生徒たちの教員らへの信頼がより一層醸成されることを期待する。</li> </ul>
オ	<p>地域人材を講師とする講演会や公開授業等を通じて、地域・保護者の定時制教育への理解を図る。</p>	<p>地域人材を講師とする教育活動を年20回以上実施。</p> <p>「学校は子どもの能力を向上させるよう指導している」と感じる保護者が90%以上</p> <p>「北高定時制に入学させてよかった」と思う保護者が90%以上 学校を信頼している保護者が95%以上</p>	B	A <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が安心できると思えば最高である。</li> <li>・地域の講師による活動を24回も実施したということは大変意義があると思います。保護者と繋がることは大変だと思いますが、報告・連絡は引き続き積極的に行って下さい。</li> <li>・学校への信頼が築かれていることがうかがえる。</li> <li>・様々な背景を持つ家庭への対応には難しさもあると思われるが、これからもできる限りアプローチを続けていきたい。</li> <li>・実社会への対応が既に求められる側面があることはアで述べたとおりである。この点、地域人材を講師とする教育活動を年20回以上実施していることは高く評価される。各</li> </ul>

					<p>家庭の事情の多様性は全日制以上で、意思疎通等が困難な場合もあると思われるが、保護者との信頼関係構築は、生徒と教員との信頼関係構築を促進するためにも重要と考える（エで述べたとおり）。</p>
カ	業務の精選と効率化を進める。	業務の精選・改善・効率化を提案または実践した職員が85%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の関係がとても良さそうで羨ましいです。しかしそれに甘んじることなく実際の業務が精選されるよう頑張ってください。</li> <li>・教職員の皆さん、お疲れさまです。</li> <li>・多忙な日常業務の様子が伺えるが、休暇取得率などで具体的な業務改善の目標値を設定してはどうか。</li> <li>・全日制でも述べたとおりである。実際上の困難もあると思料するが、教員の働き方改革は今後も積極的に推進されたい。</li> </ul>
		自身の役割を理解し、協力して取り組むことができた職員が85%			
		ワークライフバランスの実現に取り組んでいる職員が85%以上			